

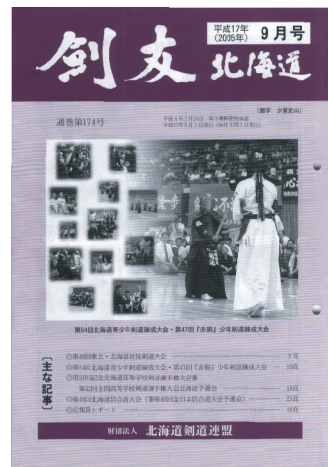
北海道剣道連盟機関誌「剣友 北海道」で 今回の訪問が紹介されました！

第3種郵便物認可 剣友 北海道

第47回「赤胴」少年剣道錬成大会の記事の中で、今回の訪問を紹介していただきました。以下本文より抜粋

・・・この応援の中には、由仁町との剣道交流会を終えて、愛知県の碧南市の少年少女十六名の剣士がこの大会を見学に来られていた（由仁町と平成三年から友好都市として十回目の交流をしている）・・・

由仁町の島崎先生にご連絡いただきました。ありがとうございました。



愛知県碧南市剣道少年団

お互い反則となる。南部が小手を打った後をすかさず引き面を決める。その後、打ち合いが多くなるが、時間切れで菊池が優勝となる。この後、団体戦百七十八チームの戦いとなるが、観客席も会場内も満員状態で試合が始まる。この応援の中には、由仁町との剣道交流会を終えて、愛知県の碧南市の少年少女十六名の剣士がこの大会を見学に来られていた（由仁町と平成三年から友好都市として十回目の交流をしている）。

団体戦の一、二回戦は、基本判定試合となっている。基本判定試合では、どのチームも稽古充分、試合に備えて練習を重ねてきた。

事務局だより

事務局 石井 有
向陽町3-12
TEL:46-5105

秋の審査会（申込書がA4サイズに変更されました）

◇級審査

- 日時 11月12日（土）9：30開始
- 会場 高浜市武道館

◇初～三段審査

- 形講習・審査
- 日時 11月13日（日）岡崎市
- 実技審査
- 日時 11月20日（日）安城市
- （会場等詳細は後日連絡します）

大会等

- ◇西三河段別・女子選手権大会 9月25日（日） 9：30～ 岡崎市総合体育館
- ◇西三河剣道形大会 10月9日（日） 10：30～ 豊田市体育館
- （8月発行の「練習・試合計画表」の三好公園体育館は誤っておりました）
- ◇葵剣道大会 11月3日（木祝）9：30～ 岡崎市総合体育館
- ◇秋季市民大会 12月17日（土）9：00～中学 13：00～小学・一般
- 臨海体育館第1体育室

稽古会

- ◇小学生強化稽古会 11月27日（日）9：30～16：00 臨海体育館
- ◇休日稽古会 9月11日（日）10：00～ 10月23日（日）15：00～
- 11月6日（日）15：00～ 12月4日（日）10：00～

豊田市小原 海と山のスポーツ交歓会

11月20日（日）今回は遠征です。詳細が決まり次第参加者の募集をします。



守破離

第3号
2005年9月10日
発行 碧南市剣道連盟

記念すべき第十回碧南市・由仁町友好親善交流を終えて 2005.7.16～18

理事長 尾崎 健次

由仁町との交流は今回で10回目、北海道へは5回目の訪問であった。今訪問の目的は、紅白試合悲願の勝率 対、前回親しくなった剣友とのホームステイでの交流、一番気候の良い真夏の北海道の見学にあった。

ご当地では島崎先生、新堂先生、高橋先生の出迎えを受け、支笏湖の見学、加藤平五郎の像の見学の後、由仁町民センターにて盛大な歓迎パーティーが行われ、夕張メロンをはじめとする豪華な料理、もれなく景品のあったビンゴゲーム、色紙による碧南の各少年クラブの紹介などで大いに盛り上がった。

2日目は午前中から、子ども同士や一般との真剣な合同稽古が行われ、午後の白熱した紅白戦が予想された。昼食で、デザートに地元の取れたてのおいしいイチゴを頂いた後、午後は碧南の一般と少年による日本剣道形の演技から始まった。続いてハイライトの紅白戦。最初は一進一退の息詰まる競り合いであったが、最後には8勝4敗4分で悲願の5勝目、通算成績を5勝5敗の5分に持ち込むことが出来た。その後の団体戦も優勝した由仁Aと代表戦になるなど、日頃の実力以上の力を出し切る好試合が行われた。交流の深まりとともに増す真剣さの中で、こどもたちは一つひとつ確実に力をつけて行ったような気がする。

厳しい戦いの後にはそれを上回る楽しみが待っていた。美しく広大な敷地を生かして作られた自慢の「ゆにガーデン」。安城のデンパークにも負けない立派な施設である。夜はその隣の体験農園でジンギスカンの焼き肉パーティー。数え切れない種類の焼き肉と飲み物、フルーツで舌鼓。その後は名湯、「ユンニの湯」で一日の充実感に浸りきることができた。

3日目は「きたえーる」で北海道少年剣道錬成大会（通称赤胴大会）出場の由仁の選手の応援と見学を行った。とても大きな会場で、北海道の少年のトップレベルの実力を一望に見渡すことが出来た。今回の合同練習にも参加して下さった高井雅一先生の紹介で、あの全日本、世界選手権の覇者、栄華直樹選手にも面会することが出来た。栄華選手は礼儀正しく、わざわざ上着を着用し、丁寧な言葉でこの大会の感想を聞かれた。一同揃っての記念撮影の後、高井先生からサイン入りの手ぬぐいまで頂くという恵まれた機会であった。その後、札幌市内観光の後、全員無事に帰路につくことが出来た。

7月16、7、8日の3連休、北海道のトップシーズンと言うこともあって航空券の購入など、様々な苦労があったが、それを上回る行事の充実があった。これは選手自らの頑張りをはじめ、由仁の皆さんの歓迎、日頃の指導、引率の先生、父母の方々全体の協力でなし得た第10回を飾る記念すべき親善交流であったと思う。「剣は心」。正しく「交剣知愛」。この楽しかった思い出を土台に、「剣の道」を力強く歩んで欲しいものである。



栄華選手を囲んで